



富士宮市立大宮小学校 学校だより

学校教育目標 いい笑顔 輝く瞳 光る汗

令和3年 2月号

～♪春よ来い、早く来い♪～

今日から2月。2月2日は節分、そして3日は立春です。節分では、「鬼は外、福は内」と声を出しながら豆をまき、家の中の悪い鬼を追い出したり、自分の中の悪い鬼を退治したりします。「すぐに諦めてしまう弱い鬼」「すぐに泣いてしまう泣き虫鬼」・・・自分の中の悪い鬼を退治するように努力してほしいと思います。



節分の次の日は、立春です。まだまだ寒い日は続きますが、日の出の時刻は早くなり、日の入りの時刻は遅くなっていき、太陽の出ている時間が、毎日2分ぐらいずつ長くなっていきます。少しずつ春の訪れを感じられるようになります。

大宮の森の桜の木は、まだ裸のまま何の変化もないように見えます。しかしよく見ると、枝先にはたくさんの木の芽が付いています。冬の間も、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、葉を芽吹かせたり、花を咲かせたりする準備を進めています。ちょうど今のみなさんと同じです。



この木は、何の木でしょう。『ゆずり葉』という木です。お正月飾りにも使います。この木は、桜の木と違って、今も緑の葉が生い茂っています。若葉が出た後に、それを譲るように前の葉が落葉することから、親が子に代を譲るようにたとえられ家が代々続いていく縁起のよい木として知られています。これが、大宮小の校庭にあります。階段を上ったところの体育館の角にあります。親が子に代を譲るというのは、学校では、6年生から5年生や下級生にバトンタッチしていくことです。2月は、委員会活動が4・5年生に引き継がれていきます。大宮小のよさや文化(あいさつの輪や仲間を大切にできる思いやりの心など)をみんなですっかり引き継いでいってほしいと思います。これから、お世話になった6年生へ感謝の気持ちを表すいろいろな取組が始まります。2月と3月でしっかり6年生から大宮小を引き継ぐことができたころ、校庭の『ゆずり葉』にも、新しい葉ができ、古い葉と入れ替わっていくことでしょう。

この2月は、1年生から5年生は進級に向けて、6年生は卒業・進学に向けて、それぞれの学年の仕上げを頑張り、勉強や運動はもちろん、友達との関わりや挨拶などの日常生活を見直し、しっかり力を付けていってほしいと思います。それぞれの春に向かって、一日一日を大切に積み上げていきましょう。

〈道徳コーナー（3年生）〉

教材 「わらじづくり」（勤労、公共の精神）

病気の父の代わりに一生懸命働く二宮金次郎に、村人たちは感心します。さらに、子供だから大人の分まで力仕事ができていると考えた金次郎は、わらじを作って村人たちに履いてもらおうと考え、実行します。このように村人のために尽くした金次郎を通して、自分はどうかあるべきかを考えます。

最初に、子供たちは、金次郎が、なぜ村人のためにわらじを作ったのか考えました。

わらじ作りなら、大人の分まで働けない子供の自分でもできる。



わらじがあれば、村の人たちが喜んでくれるし、仕事が進む。

なぜ、わらじを作ったのかを考えることで、「村のために役立つことをしたい。」という金次郎の願いに迫ることができたと思います。

振り返りでは、自分ならどうするかという視点で考えました。

自分なら金次郎と違うけど、子供だから子供なりの仕事をしたい。



私も金次郎のように大人と同じように働きたい。子供だけでもできることはやりたいし、みんなの役に立ちたい。

私はすぐにあきらめたりいやになったりするけど、今日の勉強で人の役に立ちたいと思った。

コロナ禍の中で、医療関係の方は私たちの生命を守るため、日々、一生懸命働いて下さっています。自分の役割を自覚し「世の中の人のために」自分ができることをしっかりやろうという意思を持ち続けることはとても大変なことだと思います。この学習を通して子供たちにも、自分の立場、役割にあった事をしたいという思いが高まりました。

～3学期 学習の様子～

1年国語（音読）



2年生活科（おもちゃ大会）



3年社会科見学（富士養鱒場）



特学4年図画工作（版画）



ホームページで、学校や児童の様子を紹介しています。
学校、学年のページをぜひ御覧ください。